

シリーズ〈世界の文豪〉第5作 S・アンダーソン短編集『トウモロコシの種蒔き』

我々の世代のあらゆるアメリカ人作家の父親、ノーベル文学賞受賞作家ウィリアム・フォークナーは、本作『トウモロコシの種蒔き』の著者シャーウッド・アンダーソンをそう称えた。

しかし日本では、シャーウッド・アンダーソンと聞いて、ぴんと来る人は少ないだろう。彼は一八七六年にオハイオ州に生まれ、高校を中退後に軍隊に入隊、その後さまざまな職を転々とし、一九一三年にシカゴに居を移して執筆活動が始める。

一九一九年には、オハイオ州の小さな田舎町を舞台にした短編集『ワイナズバーク・オハイオ』を発表、これが話題となり一躍有名

作家となった。本書には十五編の短編が収められている。各編では世の不条理や様々な人間模様が描かれており、アンダーソンの鋭い観察眼がいかに発揮されている。表題作『トウモロコシの種蒔き』では、死と再生がテーマとなっており、最愛の息子を亡くし片田舎で

20世紀アメリカ文学を代表する作家
S・アンダーソンの傑作短編集



トウモロコシの種蒔き
S・アンダーソン短編集

S・アンダーソン著／後藤健治 訳
2018年3月刊 / 1,500円 (税別)

**体験受講・実力判定 無料！
入校随時受付中！**

Inter College Support 柏船舎学校事業部 翻訳家養成校

インターカレッジ札幌

- ★インターカレッジ札幌では、第一線で活躍する翻訳家が少人数クラスで指導します。
- ★卒業生には株式会社及他出版社と連携して、仕事の紹介、提供をしています。
- ★当校は随時入校可。実力判定テスト(無料)、クラス見学(無料)をお試しください。

**文芸翻訳家養成校が
札幌にあります。**

担当 青山万里子
受付時間 11時～18時(土日祝除く)

TEL 011-219-1772
FAX 011-219-1210
E-mail: info@intercollege.co.jp
HP: www.intercollege.co.jp

農園を営む老親の悲しくもたくましい姿が目につかんでくる。いわゆる純文学的な作品で、アンダーソンは人間をときに厳しく、ときに優しく見つめながら、彼らの心奥を抉り出そうとするのである。本作はまさに、アンダーソンの真骨頂と言えるだろう。

こういった彼のスタイルは、前述のフォークナーのみならず、同じくノーベル文学賞受賞作家のヘミングウェイやスタインベックにも多大な影響を与えた。

アメリカ文学史上極めて重要な位置づけをされている作家シャーウッド・アンダーソンを、この短編集で多くの人々に知っていただければ、と願っている。

また、本作の翻訳を手がけてくださった後藤健治氏は、読売新聞及び柏船舎等が後援している「文芸翻訳家養成校」の一級合格者であり、本書が翻訳デビュー作品となる。

アンダーソンの文体に即した、素晴らしい翻訳に仕上げていただいた。今後のさらなる活躍にぜひご期待いただきたい。

(編集担当 青山万里子)

合田一道氏は元北海道新聞の記者だ。記者時代から北海道の隠れた歴史を掘り起こしてきた。各地に建てられた碑の背景にある物語や、ひっそりと忘れられた墓に眠る人々の人生を描き出してきた。

表舞台に立つ人だけでなく、市井の人々の歴史を書き残してきた合田氏の新刊が『夜明けの海鳴り』北の幕末維新だ。さまざまな角度から150年前のこの時代を生きた人々の生き様に光を当てていく。

明治維新とともに生まれた「北海道」を作ったのは、幕末を生きて、戦った男たちだった。彼らが残した手紙や五言絶句、公的な文獻を紐解きながら、古文書や人物写真など123点に及ぶ貴重な資料とともに生き生きと描き出す。

(編集担当 可知佳恵)

蝦夷地に夢を託した坂本龍馬、死に場所を求めて箱館戦争に散った土方歳三、そして新選組の残党たち。蝦夷島臨時政権を樹立し、その後開拓使で活躍した榎本武揚。「北海道」と命名した松浦武四郎。開拓判官として札幌の基礎を築き、佐賀の乱に散った島義勇、サッポロビールを創った村橋久成。朝敵とされ、新天地を求めて北海道開拓に入った仙台藩士たち。北海道から西南戦争へと駆り出された屯田兵。

その他、国際色豊かだった函館で起きたドイツの外交官殺害事件、ロシアと北海道の間で翻弄されるアイヌ民族、思想犯として北海道の監獄に送りこまれた自由民権運動家たちなど、22の物語を収録。

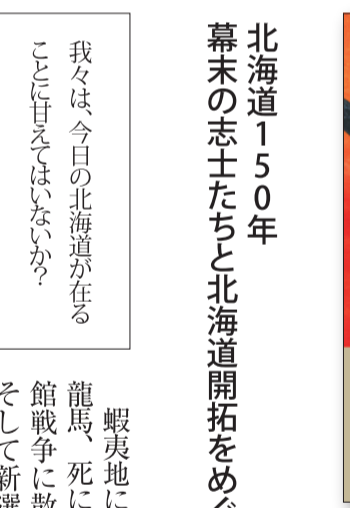
150年で未開の地をここまで開発した例は世界でも珍しいという。現在、この北海道開拓の歴史に倣おうと北海道大学に各国から留学生が学びに来ている。

北海道命名150年の今年、先人たちはいかにして驚異の北海道開拓を成し遂げることができたのか。今日改めて彼らの情熱を感じ、その偉業に敬意を払うことこそ、彼らの霊を慰めることになるだろう。

我々は、今日の北海道が在ることに甘えてはいないか？

150年前に北海道を舞台に戦い、新天地を切り拓いた幕末の志士たちの22の物語。今日の北海道の礎を築いた男たちの奮闘ぶりを、当時の古文書や貴重な資料を基に紐解いていく。

北海道150年
幕末の志士たちと北海道開拓をめぐる22の物語。



夜明けの海鳴り
北の幕末維新
合田 一道
2018年2月刊 / 1,600円 (税別)

あなたの本をつくりませんか？ **柏船舎の自費出版**

資料請求など、お気軽にお問合せください
011-219-1211 担当 山本 哲平

TVで紹介されました！

『歌集 八回の巳年』
松本軍吉 著
2013年6月発刊
(非売品)

『歌集 歲月』
松本軍吉 著
2017年6月発刊
(非売品)

ご家族の協力のもと、寄稿いただいた俳句も所収された、とても温かみのある歌集となりました。

松本様は二〇一三年にも『八回の巳年』という歌集を制作されており、こちらには短歌のほかにご自身の描かれた墨絵も所収されました。

柏船舎では、さまざまな方の想いを形にしてみました。

本を作りたいとお考えの方は、弊社までお気軽にお問い合わせください。

墓マイラー必携！
北海道にまつわる歴史上人物の墓200選！

北の墓
歴史と人物を訪ねて
上・下巻
合田一道 / 一道塾

2014年6月刊
各1,800円 (税別)

【記念誌作成紹介】
今までに弊社で作成のお手伝いをさせていただいた記念誌の中から数点をご紹介します。

北海道の黎明期から維新期、明治、大正、昭和から平成まで北海道に関わる人物を取り上げ各人物の歩み、墓及び墓碑までの道のり、命日、戒名(法名)、諡号まで掲載。
今日、北海道に生きることの奇跡を感じる一冊。

柏船舎航海日誌

(vol.17)
2018年春号

【発行】注文・問い合わせ先
柏船舎 (はくろしや)
札幌市中央区北2条西3丁目1
電話 011-219-1211
FAX 011-219-1210
HP www.hakurosyaya.com

無料
ご自由に
お取りください